

2018 年 4 月 2 日

高耐熱性ポリイミドフィルム「ゼノマックス®」の生産・販売会社 「ゼノマックスジャパン株式会社」設立のお知らせ

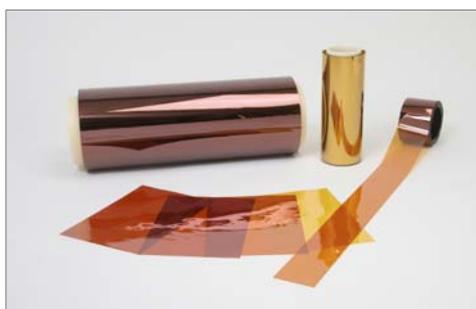
当社は、本日、長瀬産業株式会社(東京都中央区、代表取締役社長:朝倉研二、以下「長瀬産業」と)との合弁により、高耐熱性ポリイミドフィルム「ゼノマックス®」の生産・販売会社「ゼノマックスジャパン株式会社(以下、「ゼノマックスジャパン(株)」)」を設立しましたのでお知らせいたします。

1. ゼノマックスジャパン(株)について

- 所在地 : 福井県敦賀市東洋町 10-24 (東洋紡株式会社 敦賀事業所内)
- 代表者 : 中村 英弘
- 資本金 : 34 億円(資本準備金を含む)
- 出資比率 : 東洋紡:66.6%、長瀬産業:33.4%
- 従業員数 : 約 40 名
- 設立 : 2018 年 4 月 2 日
- 事業内容 : 高耐熱性ポリイミドフィルム「ゼノマックス®」の生産、販売

【新設する生産設備の概要】

- 所在地 : ゼノマックスジャパン(株)と同じ
- 延床面積 : 約 4,300 平方メートル
- 構造/階数 : 鉄骨 / 2 階建(一部 5 階建)
- 操業開始 : 2018 年 10 月(予定)
- 投資額 : 約 30 億円



高耐熱性ポリイミドフィルム「ゼノマックス®」



「ゼノマックス®」生産工場 完成予想図

2. 高耐熱性ポリイミドフィルム「ゼノマックス®」について

「ゼノマックス®」は、室温から500℃まで熱膨張係数^{*1}が約3ppm/℃と一定で、ポリマーフィルムとして世界最高レベルの寸法安定性^{*2}を持つ高耐熱性ポリイミドフィルムです。当社が持つ高耐熱ポリマーの合成技術やフィルム製膜技術などを駆使することにより、従来のポリイミドフィルムでは不可能だった、ガラス基板と同等の高い寸法安定性を実現しました。400~500℃の高温下で加工が必要な薄膜トランジスタ(TFT)の回路基板向けに使用することができます。これまで、コーポレート研究所(滋賀県大津市)内のパイロット生産設備で製造し、電子ペーパーディスプレイ向けTFT基板材として採用されてきました。

3. 今後の展開

ゼノマックスジャパン(株)の設立に伴って生産設備を新設し、2018年10月より操業を開始します。電子ペーパーディスプレイ向け TFT 基板材の需要増に対応するとともに、「薄い」「軽い」「割れない」「曲がる」といったフィルムの特性を生かし、フレキシブルな有機 EL ディスプレーや各種センサー、さらにはマイクロ LED といった次世代ディスプレイ用途での展開を図ります。

今回、従来の 38 ミクロンタイプに加え、5 ミクロンタイプの薄膜グレードを新たにラインアップしました。薄膜化が有利とされる有機 EL ディスプレーや薄膜センサー用途の事業拡大に注力し、早期に 100 億円規模の事業の構築を目指します。

※1 熱膨張係数: 温度の上昇に伴って物体の寸法(サイズ)が大きくなる(熱膨張の)割合を示す。単位温度当たりの変化率で示される。

※2 寸法安定性: 温度の変化に対して物質(材料)の寸法(サイズ)の変化が起こりにくい性質。

以 上

<お問い合わせ先>
東洋紡株式会社
コーポレートコミュニケーション部
電話:06-6348-4210 FAX : 06-6348-3443
e-mail : pr_g@toyobo.jp